

宮崎－バン格拉デシュ ICT 人材育成事業（B-MEET）

B-JET によりバン格拉デシュの高度 ICT 人材の宮崎への導入を図る中で、宮崎に定着したバングラデシュ出身の ICT 人材の活躍と、雇用企業を含む宮崎の産業の発展が期待されます。一方、バングラデシュにおいては BASIS*² に所属の ICT 企業等において日本企業とのビジネスを期待する声を受けて、同企業および現地の ICT エンジニアへの日本との取り引きを見据えた日本語やビジネスマナー等の指導へのニーズがありました。

そこで、JICA の草の根技術協力事業の地域活性化特別枠を活用した、「宮崎－バングラデシュ ICT 人材育成事業（B-MEET）」が立案されました。これは、宮崎市を提案団体、宮崎大学を実施団体として、宮崎市 ICT 企業連絡協議会（Miyazaki IT +）の協力を得て、バングラデシュ側の BCC*³、NSU をカウンターパートとしたプログラムです。BASIS の ICT 技術者や CSE（情報科学学部）出身者以外の IT 人材などへ日本語、ビジネスマナー等の研修プログラムを行いつつ、BASIS 等の企業と宮崎の企業との結びつきを支援し、バングラデシュ－宮崎の経済交流を進めることを目的としています。

日本とのビジネスを志向する現地 ICT 人材の育成、経済交流の促進により、両国の発展に資する継続的な互恵的関係に向けた取り組みとなっています。今後、バングラデシュ－宮崎における中長期のヒト・モノ・カネの循環を目指します。

*¹ Bangladesh-Miyazaki ICT Engineers Educational Training : B-MEET

*² Bangladesh Association of Software & Information Services : BASIS（バングラデシュ・ソフトウェア&情報サービス協会）

*³ Bangladesh Computer Council : BCC（バングラデシュ・コンピュータ評議会）

